

ステップ1

地域のことを話し合う準備

①学習会

まちづくり委員会の仕組みや必要性について、理解を深めます。

- ・説明会、学習会の開催。

②検討・設立準備会の設立

検討・準備会の構成団体を検討します。
設立に向けたスケジュールを確認しましょう。

- ・まちづくり委員会の設立に向けて、検討するための準備会を立ち上げ、継続的に話し合う場をつくります。
- ・スケジュールはまちづくり委員会の設立目標から逆算すると立てやすいです。

③設立準備会の周知

設立準備会が設立したことを広く住民に周知し、スケジュール等についてもしっかり理解してもらいましょう。

- ・チラシの配布や回覧、ポスターの掲示等により広く周知しましょう。



ステップ2

検討・準備会会議の開催

①定例会議

定期的に会議を開催し、まちづくり委員会設立に向けて継続的に話し合いを行います。

- ・地域の現状・住民ニーズの把握
- ・既存の活動の見直し
- ・新しい活動の企画立案
- ・取組等の広報、周知

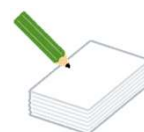
地域の現状を確認

②地域の現状を把握

地域住民が考える地域の良いところや悪いところを把握しましょう。
住民の考える地域課題やニーズを掘り起こす。

- ・出来るだけ多くの意見が集められるようやり方を工夫しましょう。
- ・現状把握は、一度だけでなく、何回か実施してみましょう。

- アンケート調査
- 意見交換会
- ワークショップ
- 聞き取り調査 など



③現状や課題（ニーズ）の整理

各種調査によって把握した現状や課題（ニーズ）を整理してみましょう。

- ・整理した結果はできるだけ地域住民に還元しましょう。

ステップ3

まちづくり計画（活動計画）の作成

①目指すべき姿や活動の整理

アンケートやワークショップにより集約した住民の意見を基にこれから目指すべき姿や地域課題をまとめましょう。

- 地域のみなさんからの意見を分類し、柱となる取組や方針を整理しましょう。

②まちづくり計画の作成

まとめたものを見やすくわかりやすく整理し、「まちづくり計画」を作成しましょう。

- まちづくり計画は概ね5年程度を見越し、実現性を考慮して作成しましょう。
- 住民がわかりやすくイメージしやすい表現にしましょう。
- 簡潔にすっきりとまとめましょう。
(A3両面程度)

ステップ4

地区まちづくり推進委員会の設立準備

①設立総会に向けた準備

新しい組織の体制や運営方法について決定し、役員や事務局の役割分担を確認しておきましょう。

- 各団体との関係の整理や調整
- 組織体制の確認
- 規約案、事業計画案、予算案の作成

※ひな形や他のまちづくり委員会の例を参考に地域の実情にあわせて作成しましょう。

総会の開催

②各町内会・自治会・構成団体

各町内会・自治会・構成団体において、地区まちづくり推進委員会の設立について説明し、目的、運営方法、これからの活動などについて確認しておきましょう。

地域のみなさんがしっかりと理解し、共有しておくことが、設立後の活動に大きく影響してきます。
説明や質疑に対応できるよう、準備をしておきましょう。

③設立総会の開催

組織の設立をはじめ、組織体制案、規約案、事業計画案、予算案を審議し、承認を得ます。

新しい組織の目的やどのような活動を行うのかを丁寧に説明し、地域のみなさんと共有しましょう。

※取り組む内容や進め方、スケジュールについては、その都度話し合いを行い、地域の実情に合った方法で無理のないよう設定しましょう。

